

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社 プロルート丸光 上場取引所 大
 コード番号 8256 URL http://www.proroute.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安田 康一 (TEL) 06 (6262) 0303
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年3月21日～平成24年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,333	△11.1	282	—	209	—	204	—
24年3月期第3四半期	16,130	△16.5	△100	—	△224	—	△29	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 199百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	12	.43	—	—
24年3月期第3四半期	△1	.75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 13,707	百万円 2,791	% 20.4
24年3月期	15,024	2,592	17.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,791百万円 24年3月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,070	△8.8	163	—	14	—	6	—	0.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	18,399,340株	24年3月期	18,399,340株
25年3月期3Q	1,925,816株	24年3月期	1,924,947株
25年3月期3Q	16,473,879株	24年3月期3Q	16,757,814株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年3月21日～平成24年12月20日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に回復の動きが見られたものの、欧州債務危機問題の長期化や新興国経済の減速などの影響により先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する衣服・身の回り品業界におきましても、一部に緩やかな回復が見られるものの、実質所得の減少を不安視した消費者の節約志向は依然根強く、厳しい経営環境が続きました。

こうした中で、当社グループは今後の持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく中期3カ年経営計画を策定し、「価値主義への企業変革」を基本方針として①収益力拡大 ②コスト変革 ③グループシナジー創出のテーマを主軸に施策を推し進めております。

当第3四半期累計期間におきましては、売上高が前年を下回りましたが、当社主軸の婦人部門を中心に全社粗利益率の改善や、前期より推し進めてきた効率化により物流費をはじめ販売管理コストの削減を実現し、各利益段階におきましては前年を上回り、黒字化いたしました。

以上の結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は143億33百万円(前年同四半期比11.1%減)、営業利益は2億82百万円(前年同四半期は営業損失1億円)、経常利益は2億9百万円(前年同四半期は経常損失2億24百万円)、四半期純利益は2億4百万円(前年同四半期は四半期純損失29百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

卸売事業

当社並びに株式会社グローバルルートを合算した当第3四半期連結累計期間の卸売事業における売上高は141億75百万円(前年同四半期比11.0%減)、営業利益は3億9百万円(前年同四半期は営業損失54百万円)となりました。

小売事業

関東地区で小売業を営む株式会社サンマールの当第3四半期連結累計期間における売上高は1億57百万円(同20.1%減)、営業損失は26百万円(前年同四半期は営業損失46百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は137億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億16百万円減少いたしました。これは主として受取手形及び売掛金が5億39百万円増加する一方で、土地が17億39百万円減少したことによるものであります。

負債合計は109億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億16百万円減少いたしました。これは主として長期借入金が増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は27億91百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億99百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が増加した一方で、資本剰余金が増加したことなどによりま

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、平成24年5月2日に発表いたしました数値に変更はありません。なお、開示が必要となりました場合は、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 重要事象等

当社グループは、過去2期間におきましては、売上高が大きく減少し、純損失を計上いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、事業の効率化等をもって各段階利益は黒字化を実現しましたが、売上高が引き続き減少いたしました。あわせて資金調達の安定化が課題となっております。

これにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していません。

これらに対処すべく、当社グループでは、すでに当連結会計年度から3カ年における「中期経営計画」を策定し、持続的成長の前提となる「黒字安定化」を実現すべく、「収益力の拡大」「コスト変革」「グループシナジー創出」の3つの戦略テーマにおける施策を展開し収益性の改善を推し進めております。また、全取引金融機関に対しましては、借入金及び社債の借換え又は条件変更等を要請し支援を得ております。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,767	990,613
受取手形及び売掛金	1,496,520	2,036,018
商品	819,625	876,852
その他	82,428	61,545
貸倒引当金	△750	—
流動資産合計	3,053,592	3,965,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,782,711	2,462,700
機械装置及び運搬具(純額)	29,776	25,039
工具、器具及び備品(純額)	129,808	97,026
土地	8,079,811	6,340,178
リース資産(純額)	87,573	67,839
有形固定資産合計	11,109,681	8,992,784
無形固定資産		
のれん	138,539	121,201
その他	168,696	130,845
無形固定資産合計	307,236	252,047
投資その他の資産		
投資有価証券	146,971	147,873
差入保証金	369,165	318,385
その他	50,626	33,881
貸倒引当金	△12,957	△2,432
投資その他の資産合計	553,806	497,707
固定資産合計	11,970,724	9,742,539
資産合計	15,024,316	13,707,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,886	742,989
短期借入金	4,250,000	4,047,755
1年内返済予定の長期借入金	1,579,484	1,100,404
1年内償還予定の社債	314,000	314,000
未払法人税等	13,218	4,629
未払費用	322,279	277,315
その他	298,254	221,205
流動負債合計	7,351,122	6,708,299
固定負債		
社債	1,130,000	973,000
長期借入金	2,907,421	2,221,888
退職給付引当金	705,998	730,803
役員退職慰労引当金	42,629	41,258
資産除去債務	14,838	15,005
その他	279,991	225,492
固定負債合計	5,080,878	4,207,448
負債合計	12,432,001	10,915,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,861,940	1,861,940
資本剰余金	1,456,450	1,160,081
利益剰余金	△426,955	74,133
自己株式	△364,133	△364,210
株主資本合計	2,527,301	2,731,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,780	58,873
繰延ヘッジ損益	5,233	1,004
その他の包括利益累計額合計	65,014	59,877
純資産合計	2,592,315	2,791,822
負債純資産合計	15,024,316	13,707,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)
売上高	16,130,852	14,333,331
売上原価	12,721,491	11,135,781
売上総利益	3,409,360	3,197,550
販売費及び一般管理費	3,510,204	2,915,499
営業利益又は営業損失(△)	△100,844	282,051
営業外収益		
受取利息	62	56
受取配当金	6,791	2,882
受取賃貸料	9,567	9,314
金利スワップ解約損戻入額	—	20,129
その他	11,219	23,875
営業外収益合計	27,641	56,258
営業外費用		
支払利息	112,893	105,562
支払手数料	18,203	12,672
その他	20,312	10,212
営業外費用合計	151,409	128,446
経常利益又は経常損失(△)	△224,611	209,863
特別利益		
賞与引当金戻入額	19,268	—
貸倒引当金戻入額	125,000	—
役員退職慰労引当金戻入額	68,413	—
投資有価証券売却益	10,606	42
その他	4,076	—
特別利益合計	227,366	42
特別損失		
投資有価証券評価損	1,655	—
固定資産除却損	—	430
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,977	—
特別損失合計	24,632	430
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,878	209,475
法人税、住民税及び事業税	4,853	5,014
法人税等調整額	2,571	△259
法人税等合計	7,424	4,754
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29,303	204,720
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,303	204,720

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△29,303	204,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,278	△907
繰延ヘッジ損益	500	△4,229
その他の包括利益合計	△9,778	△5,137
四半期包括利益	△39,081	199,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,081	199,583
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,933,531	197,320	16,130,852	—	16,130,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	—	65	△65	—
計	15,933,596	197,320	16,130,917	△65	16,130,852
セグメント損失(△)	△54,368	△46,669	△101,038	194	△100,844

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「卸売事業」セグメントにおいて、事業の譲受けによりのがれんが発生しております。なお、当該事象によるのがれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては161,656千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	14,175,716	157,615	14,333,331	—	14,333,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	167	223	△223	—
計	14,175,772	157,782	14,333,555	△223	14,333,331
セグメント利益 又は損失(△)	309,022	△26,970	282,052	△1	282,051

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。